

# 偏微分方程式の解の構造の研究

京都大学数理解析研究所

1984年7月

禁帯出期間

59. 8. -1 - 8. -8

数研図書室

偏微分方程式の解の構造の研究  
研究集会報告集

1982年11月 8日~11月10日

研究代表者 松浦 重武 (Shigetake Matsuura)

京都大学

85088525

図書

数理解析研究所

目 次

1. 多角形領域におけるラプラシアン固有値分布について----- 1  
京大 理 大塚 研一 (Ken'ichi Otsuka)
2. 楕円型作用素のスペクトラル関数に対する漸近評価とその応用-----17  
阪大 理 辻本 順一 (Jun-ichi Tsujimoto)
3. ある種の偏微分作用素のCauchy問題の一意性 -----24  
京大 理 大鍛冶 隆司 (Takashi Okaji)
4. 多重特性的作用素に対するCauchy問題の非一意性-----36  
東大 理 中根 静夫 (Sizuo Nakane)
5. 2階方程式に対するCauchy問題の解の一意性-----61  
兵庫教育大 渡辺 金治 (Kinji Watanabe)
6. 斉次多項式が定める非線形方程式の解の分岐特異性-----71  
京大 数理研 亀谷 陸 (Makoto Kametani)
7. 逆Sturm-Liouville 問題について-----91  
学習院大 理 水谷 明 (Akira Mizutani)
8. ある種の双曲型Cauchy問題の解の特異性について----- 101  
筑波大 数学 若林 誠一郎 (Seiichiro Wakabayashi)